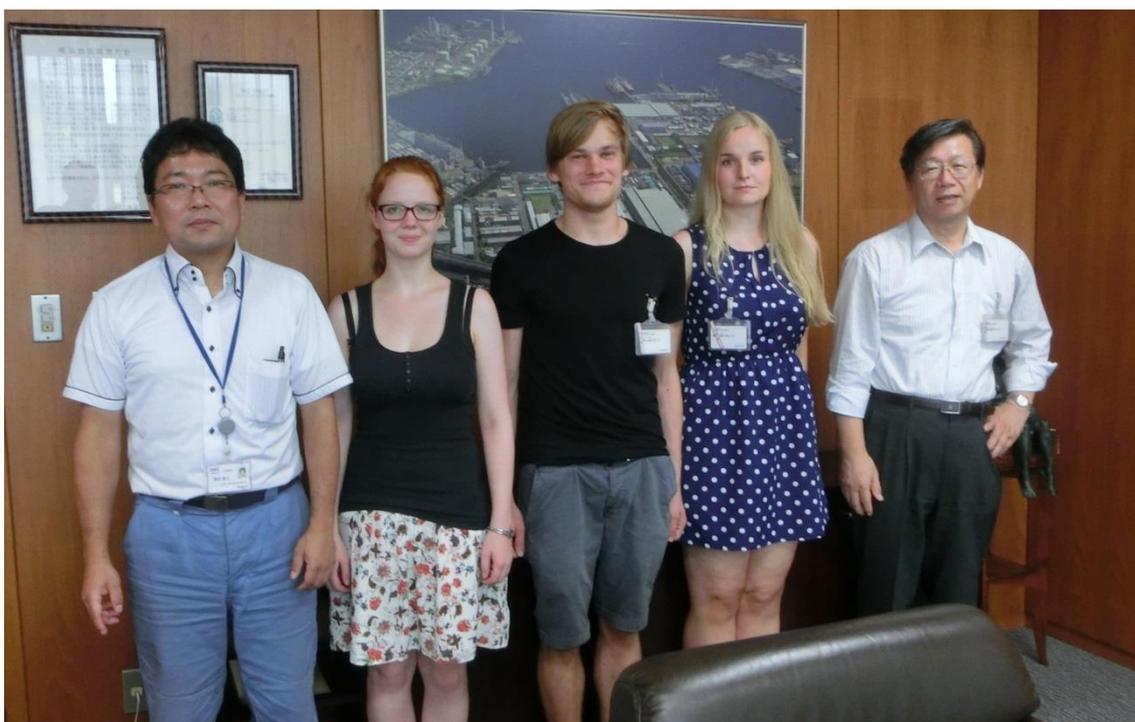


岐阜高専、受け入れ中のドイツ・ハノーバー大学大学院生が（株）IHI 基盤技術研究所を訪問

岐阜高専は、平成 24 年 9 月に包括交流協定を締結したドイツ・ハノーバー大学数学物理学部（Leibniz Universität Hannover）と、JASSO 支援のもとで、学生の交換（派遣・受け入れ）を行っています。本年 7 月 27 日から約 2 週間の予定で、同大学・気象気候学科の大学院生 3 名を、岐阜高専環境都市工学科・建築学科の研究室で受け入れ、研究室の学生らと災害科学・環境科学の研究等を行っています。3 人の学生は、8 月 7 日、横浜市新杉田の株式会社 IHI 基盤技術研究所を訪問し、熱・流体研究部次長・須田俊之氏から、資源/エネルギー/環境、社会基盤/海洋事業、航空/宇宙/防衛などの事業で世界展開する IHI 全般の説明を受けるとともに、同社基盤技術研究所の大型温度成層風洞の見学、それを用いた大気環境研究の説明を受けました。3 人の大学院生は、LES(Large Eddy Simulation)を用いた都市境界層内乱流の研究を行っており、当該風洞の性能等に関して活発な質疑を行いました。



ハノーバー大学気象・気候学科大学院生 3 名（左から、カトリン・シャルフ、ヨハネス・シュベンケル、カッチャ・ローミュラー）を挟んで、左端・須田俊之（株）IHI 基盤技術研究所熱・流体研究部次長、右端・北田敏廣岐阜高専校長。